

オンラインガイダンス

法学部の入試について

法学部の一般選抜（前期日程）のみ！
サテライト（別会場）入試を広島市で実施します！

説明の流れ

- 1 募集人員・試験日程
- 2 入試科目等（法律学科・政策科学科共通）
- 3 2021年度（今年度実施）以降の変更点
- 4 一般選抜（前期）、学校推薦型選抜における
「小論文」について
- 5 一般選抜（後期）における
「面接」について

募集人員と日程（変更後）

*関係資料「入学者選抜要項」

	法律学科	政策科学科	試験日程(予定)
一般選抜 前期日程	100人	40人	2021年2月26日（金）
一般選抜 後期日程	15人	10人	2021年3月13日（土）
学校推薦型選抜	57人	23人	2020年12月13日（日）
社会人特別選抜	5人	3人	同上
外国人留学生特別選抜	若干名	若干名	2021年2月7日（日）
帰国子女学生特別選抜	若干名	若干名	同上

※新型コロナウイルス感染症への対応に伴い、今後も試験日程が変更となる可能性があります。

一般選抜（前期）

*関係資料「入学者選抜要項」

I. 共通テスト3教科3科目（200点×3=600点）

①国語

②外国語（英<リスニング含む>・独・仏・中・韓から1科目）

③下記の教科から1科目

○地歴・公民

（世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫理、政経、倫理・政経から1科目）

○数学

（数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1科目）

○理科

（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地から1科目）

II. 小論文（300点）

「基礎」（50点）がつく
理科科目は2科目

一般選抜（後期）

*関係資料「入学者選抜要項」

I. 共通テスト3教科3科目（200点×3=600点）

①国語

②外国語（英<リスニング含む>・独・仏・中・韓から1科目）

③下記の教科から1科目

○地歴・公民

（世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫理、政経、倫理・政経から1科目）

○数学

（数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1科目）

○理科

（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地から1科目）

II. 面接（200点）

学校推薦型選抜

*関係資料「入学者選抜要項」

共通テストは課さない

推薦要件 平均評定値3.8以上

基礎学力テスト等（200点）

I. 小論文（90分、150点）

II. 資格取得等申告書、推薦書および調査書

（「健康の状況」を除く）を点数化し（50点満点）、総合的に判断して決定

2021年度入試からの変更点

*関係資料「入学者選抜要項」

一般選抜 前期

☆「小論文」の試験時間が120分から90分に

一般選抜 後期

☆「理科」も選択可能に（一般前期と同じ指定）

学校推薦型選抜

☆求める評定平均値が3.5以上から3.8以上に

☆資格取得等申告書＋推薦書＋調査書→30点から50点に

☆「小論文」の試験時間が120分から90分に、
配点は300点から150点に変わります。

「小論文」試験の目的・観点

- 具体的には…

- ①課題文を提示し、受験生の読解力を試す
- ②字数制限の範囲内で、どれだけ論点を的確に提示し、そのうえで自説を十分論理的に、説得力あるかたちで展開しているかをみる
- ③日本語の文章表現力が十分であるかチェックする

小論文試験の形式・近年の出題傾向

①6000字前後の課題文

★過年度は8000字前後

⇒参考：大学HP入試情報「過去の入試問題等」

②解答の分量は800字程度

★過年度は840字以内

★近々の2年度は2問（要約400字・意見400字）

要旨の把握、受験生がどれだけ論点を的確に提示し、
自己の見解を論理的に説得力ある形で展開しているか

「小論文」試験の対策

・受験生に望むのは…

①自身の主張をわかりやすく他人に伝えられるか

←論理的で説得力のある文章を書く

「書く」能力を獲得するために「読む」

②様々なトピックに対して関心を持ち、さらに問題意識を有しているか

←社会を取り巻く状況に対しアンテナを張る

自身の問題として考える姿勢を持つ

⇒整理・要約する力

自己の見解を論理的・説得的に論述する力

小論文の評価ポイント

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
(一昨年度分からは「解答例」も)

- ①課題文を読解できているか
- ②「何について」問われているのかを理解して解答しているかどうか …「問」の読解力
- ③自分の言葉で、自身の意見等を論理的・説得的に論述できているか
…課題文の中にある視点・ヒント等も手掛かりにして、議論を展開できているか
- ④日本語の文章表現として正確・適切か

問題1：過疎地域における行政サービスの維持に関する筆者の主張を要約する（400字）

問題2：筆者の主張をふまえ、過疎地域における行政サービスを継続すべきか否かについて自身の立場を明らかにした上で、行政サービスの効率性・採算性の問題を含め、その行政サービスをどうすべきかについての意見を述べる（400字）

〈2019（平成31）年度前期〉

問1）行政サービスの維持についての筆者の主張をうまくまとめられたか？

← 課題文全体の要約ではない/キーワードを書くことができたか。

問2）自身の立場を明らかにしたうえで、具体策が示せるか

← 自分の意見を示しているか？

行政サービスをどうしていくべきか、説得的に展開されているか？

ごく一部に特化せず対策を論じられているか

部分的、論証不足 ×

用意してきた答案を無理やりこじつける ×

課題文と問いを読解できているか
「何について」問われているのか

主述関係が不明瞭、常体と敬体の混用、
口語的な表現をしている答案 ×

面接試験の内容

- 2019年度は3問

①志望動機と入学後に学びたいこと（1分程度で）

←入学意欲や将来設計

②低所得者世帯を対象とする大学等の教育の無償化の問題について

③関心を持った社会的事件・出来事

←社会に関する基礎的知識と問題関心、社会的問題に対する論理的思考力および多角的検討能力

- 受験者の回答への反論提示や質問をするなどして、受験者の知識・関心の幅、論理的思考力、プレゼンテーションおよびコミュニケーション力を評価

他の情報について

入試に関する詳細な情報は以下に

- ①大学HP「入試情報」、「学生募集要項」
- ②法学部HP（オリジナルサイト）でも順次情報をアップしていく予定です

